

朝夕涼しくなった今日この頃、TEAM Hawksの代表 高口、山下、大西は高松市の斯道学園を訪ねた。

斯道学園とは、家庭環境等から生活指導を要する児童を入所させ、必要な指導を行って自立を支援する児童福祉施設である。また、退所後の児童に対しても必要な相談や援助を行う施設である。(当チーム調べによる)

アームレスリング初体験の生徒達は片手でグリップバーを握りしめ、もう片手で力の限り握り合った生徒達は審判の号令で、競技を開始。

10数秒間息を止め、普段握ることはない先生と生徒は照れながらも力の限りを尽くして相手の腕を押し込んだ。

競技台の上で繰り広げられる白熱した熱戦に会場は沸いた！

高口代表は

「礼儀正しく素直な心の生徒達のキラキラ輝く目は心を動かし又元気をもらってます」

「アームレスリングを通じて老若男女、障害者、健全者問わず、誰もが楽しめるスポーツ。今後も競技普及を目指す活動を続けたい」と話した。

TEAM Hawksでは今後ともアームレスリングの普及に

積極的に取り組んでいきます！

子供のころ、誰もが一度は遊んだ「腕相撲」。

思いっきり歯を食いしばって、腕にはこんかぎりの力を込めてー。

あのころのように、楽しく(ちょびり本気で)「力くらべ」をしてみませんか？

腕相撲は、老若男女すべての人が楽しめる「スポーツ」です。

そのココロは「勝った相手を讃え、負けた相手も讃える」ことにあり、

ケガをしない。

また、自分の力が最大限発揮できるようにきちんとしたルールがあります。

普段は眠っている！？アツい魂が燃えること間違いなし！

眠っている力を開花してみませんか？

アーム台の貸出やイベントも承っています。

是非ご連絡下さい。

090-1009-1120(タカグチ)



<http://pksp.jp/hawkskagawa/>



5人対高口氏



初めてのアームレスリング！



高口氏と山下氏



大西氏と山下氏